

# 平成25年度通常代議員総会議案書

## 【報告事項】

1. 平成25年度事業計画及び予算について

## 【審議事項】

- |       |                       |
|-------|-----------------------|
| 第1号議案 | 平成24年度事業報告並びに決算報告について |
| 第2号議案 | 理事の補充選任について           |
| 第3号議案 | 監事の選任について             |
| 第4号議案 | 役員報酬について              |

平成25年6月27日

一般社団法人 学士会

## 【報告事項】

### 平成25年度事業計画及び予算について

平成25年度事業計画及び予算につきましては、平成25年3月14日開催の評議員会にて承認の上決定しております。その概要につき報告させていただきます。

#### I. 平成25年度事業計画

本会は、平成25年4月1日に「一般社団法人学士会」として新たなスタートを切ることとなった。平成25年度は、本会にとって新法人移行後の初年度となるが新定款の定めに基づき着実に会務運営を行うとともに、以下の諸課題に取り組んでいく。

##### 1. 平成25年度重点課題

###### (1) 「一般社団法人」移行後の体制整備等

- ①新定款の定めに基づく組織運営等の実施（理事会、代議員総会の実施等）
- ②新定款の定めに基づく各種規程類の整備
- ③行政庁（内閣総理大臣）に対する義務履行と「公益目的支出計画」の実行

###### (2) 会員増強—会員減少化の歯止めと新規会員獲得への取り組み—

- ①新規会員獲得に向け、組織的取組みの一層の強化
- ②（入会メリットとなる）魅力ある会員サービスメニューの開発
- ③大学・在学生に対する「学生会員」制度のアピール、学士会認知度のUP

###### (3) 会館運営事業の強化

- ①会館運営における本会と㈱学士会館精養軒との役割再整理、両者の連携強化
- ②会館運営事業収支の改善
- ③会員増強に繋がる会員向け会館サービスの充実、新規サービスの提供

###### (4) 既存事業・諸活動の見直し、再構築

- ①『學士會会報』と『U7』の将来に向けたあり方の検討
- ②会員層（年代層、居住場所、性別等）に応じたイベント・サービスの企画、提供
- ③既存事業等の効果検証と事業収支の改善

##### 2. 事業計画

本年度は、上記重点課題への対応を中心に、一般社団法人移行後の初年度として定款第4条に定める各種事業を着実に展開していく。

###### (1) 会報の発行

昨年度より同月発行となった『學士會会報』と『U7』を、以下にてそれぞれ発行していく。なお、会報発行について会員ニーズの変化や経費の軽減等を見据えながら、今後のあり方に関し両誌の統合、発行回数の見直し、ウェブ化等々、様々な角度から検討を行っていく。

###### 『學士會会報』

明治21年から続く『學士會会報』の発行は、本会にとって極めて重要な事業であると共に本会の目的である「学術的文化的知識の交流普及」を行う上で不可欠なツールとなっている。会員

にとって読み易く又馴染み深い会報となるよう誌面づくりに留意するとともに、一層の内容の充実を目指し、年6回、奇数月に発行していく。

なお、従来どおり、都道府県立図書館や大学各部図書館への寄贈、また本会 HP 上での告知による希望者への頒布等により、広く社会に発信していく。

## 『U7』

『學士會会報』と並ぶ、本会のもう一つの会報である『U7』については、関係七大学を繋ぐ総合情報誌としての役割を果たすべく、七大学の協力を得て会員及び七大学関係者（役員・教職員他）にとって興味ある話題の提供を行っていく。

### (2) 七大学の諸活動支援及び連携

関係七大学及び関連同窓団体との連携を強化し、七大学の教育・研究活動支援等を目的として以下の活動を行うとともに、若手会員増強策の一環として本会与大学同窓会のメーリングリストの相互利用、卒業生向けイベントの共催等を推進していく。

- ①七大学総合体育大会への協賛（本年度主管校である大阪大学への寄附提供）
- ②学士会館内の「七大学展示コーナー」「支部連絡事務所」の無償提供
- ③「U7」による七大学の現状、動向等の紹介

### (3) 学士会館の運営

会員並びに関係七大学等の学術研究会、講演会、講習会、宿泊その他の利用に供するため、会館を維持管理する。学士会館における各種会員サービスの提供は本会の重要な事業であり、また会員にとっての大きな魅力—入会メリットでもあるため、会員サービスの一層の充実を図っていく。

なお、上記を実現するためにも(株)学士会館精養軒との連携を強化し、一体的運営を心がけると共に、会館運営事業の収支改善を図る。

### (4) 講演会、談話会、その他の催し

学士会館の開館とともにスタートした本会の代表的行事である午餐会及び昭和40年から続く夕食会については、本年度も以下のとおり実施するものの、新たな参加層開拓のため、従来の開催頻度等を一部見直した上で、午餐会・夕食会とは異趣の講演会又はコンサート等を代替実施する他、従来の催しに加え若手会員の新たな交流の場の提供等、より多くの会員が参加しやすい環境づくりを目指して各種催しを試行していく。

#### □午餐会（原則として、毎月20日開催）

午餐会は、会員にとって興味ある又時宜を得た話題を選定し、当該テーマに対する学識経験者等による学術講演会を中心に開催する（原則として8月及び12月を除く年10回の開催を予定）。

#### □夕食会（原則として、毎月10日開催）

夕食会は、午餐会と同様に学識経験者等による学術講演会を中心に開催する。  
なお、従来どおり8月を休会とする他、上記のとおり新規に企画する講演会やコンサート等の開催日程によっては夕食会を休会とする月を設けることも検討する。

忘年家族会

会員及びその家族を対象に、平成25年12月21日（予定）に学士会館にて開催する。  
なお開催日程は、前年同様に1日開催とする。

新年祝賀会

会員を対象に、平成26年1月7日（予定）に開催する。

関西茶話会（関西学士会講演会）

関西地区における講演会（「関西茶話会」）を、本年度は4月、6月、10月及び2月に実施する。開催に当たっては、開催場所を大阪（中央電気倶楽部）と京都（楽友会館）の二ヶ所に設定する他、関係大学他の協力を得て博物館、美術館、関連施設等の見学会を組み合わせるなどの工夫を行っていく。

**（5）会員親睦活動（同好会支援等）**

会員の自主的活動を支援するため、会館内倶楽部室の提供や公式行事の際の会議室提供等を行うとともに、同好会活動を通じて本会の会員基盤の強化・拡大に繋げていく。

**3. 庶務事項**

**（1）代議員総会**

新法人移行に伴う初回の代議員総会となる「平成25年度通常代議員総会」を6月27日（木）に学士会館にて開催し、以下の議案審議を行う。

- ①平成24年度事業報告、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録の承認
- ②役員を選任（監事の補充）
- ③その他（一般社団法人法で定める必要事項等）

**（2）理事会**

定款第34条に定める理事会を、毎月第4木曜日を定例日として開催し、種々会務を審議決定する（但し、8月及び12月は休会とする）。

**（3）監事会**

平成25年5月23日（木）に監事会を開催し、平成24年度正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録の検査を行う。

**（4）常務会**

定款第41条に定める常務理事会を、毎月定期的で開催し、種々の会務を審議する。

**（5）諸委員会**

会報編集委員会

原則として定例月に開催し、『學士會会報』（第902号～907号）の編集及び午餐会・夕食会の講演候補者につき審議を行うとともに、今後の『學士會会報』及び『U7』の有り方について審議を行う。

□その他専門委員会

今年度の重点課題である「会員増強」や「会館運営事業の強化」に関して、必要に応じて専門委員会を設置し、組織的・効果的な取組みを行っていく。

□趣味同好会

趣味同好会による定例行事の他、全体の総会を平成25年12月2日（月）に開催する。

以上

## Ⅱ. 平成25年度予算

(単位：千円)

科 目	25年度予算	24年度予算	増 減	24年度決算案
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1. 事業活動収入</b>				
① 特定資産運用収入	59,000	45,000	14,000	88,256
② 受取会費収入	205,000	210,000	▲ 5,000	207,868
普通会費	190,000	199,000	▲ 9,000	200,918
終身会費	15,000	11,000	4,000	6,950
③ 事業収入	250,128	249,228	900	251,360
会館運営	209,280	209,280	0	209,280
講演会費	22,968	22,248	720	21,437
会報等広告料	17,880	17,220	660	20,563
氏名録発行	0	480	▲ 480	80
④ 雑収入	1,307	1,218	89	13,774
受取利息及び配当金	30	44	▲ 14	12,025
雑収入	1,277	1,174	103	1,749
<b>事業活動収入計</b>	<b>515,435</b>	<b>505,446</b>	<b>9,989</b>	<b>561,258</b>
<b>2. 事業活動支出</b>				
① 事業費支出	390,976	395,131	▲ 4,155	389,521
役員報酬	2,818	2,362	456	2,601
給料手当	98,260	104,905	▲ 6,645	98,525
退職給付費用	0	3,987	▲ 3,987	3,987
福利厚生費	15,083	16,035	▲ 952	15,626
旅費交通費	3,754	3,801	▲ 47	3,474
電話費	972	1,074	▲ 102	1,117
什器備品費	1,123	1,390	▲ 267	1,130
文房印刷費	660	888	▲ 228	710
消耗品費	2,450	1,800	650	4,621
図書費	420	420	0	424
営繕費	19,580	13,000	6,580	17,145
施設保守費	44,534	44,048	486	45,420
給水冷暖房費	5,112	4,323	789	4,906
電灯電力費	10,118	9,986	132	9,519
保険料	1,039	584	455	574
租税公課	56,897	60,788	▲ 3,891	56,897
会報費	83,890	85,790	▲ 1,900	84,654
氏名録費	3,630	860	2,770	123
講演会等経費	20,562	18,717	1,845	18,525
会員活動強化費	400	500	▲ 100	403
七大戦支援費	7,000	7,000	0	7,000
システム管理費	3,954	4,356	▲ 402	4,395
会場施設使用費	8,720	8,517	203	7,745
② 管理費支出	106,319	109,914	▲ 3,595	96,984
役員報酬	5,988	7,328	▲ 1,340	7,426
給料手当	42,080	44,937	▲ 2,857	42,225
役員退任慰労金	0	0	0	430
退職給付費用	0	1,709	▲ 1,709	1,708
福利厚生費	7,721	8,671	▲ 950	8,464
旅費交通費	3,532	3,001	531	3,304
会議費	2,600	2,671	▲ 71	3,910
賃借料	120	120	0	115
電話費	408	462	▲ 54	479
文房印刷費	159	593	▲ 434	304
給水冷暖房費	307	137	170	151
電灯電力費	264	304	▲ 40	294
租税公課	18,384	10,601	7,783	6,990
会員活動強化費	6,637	6,500	137	3,968
集金費	7,020	7,434	▲ 414	6,238
業務報酬料	6,400	6,650	▲ 250	6,590
システム管理費	2,796	3,030	▲ 234	3,130
雑費	1,903	766	1,137	1,258
予備費	0	5,000	▲ 5,000	0
<b>事業活動支出計</b>	<b>497,295</b>	<b>505,045</b>	<b>▲ 7,750</b>	<b>486,505</b>
法人税等支払額	140	140	0	140
<b>事業活動収支差額</b>	<b>18,000</b>	<b>261</b>	<b>17,739</b>	<b>74,613</b>

(単位：千円)

科 目	25年度予算	24年度予算	増 減	24年度決算案
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	1,537,550	482,496	1,055,054	1,560,000
建物改築引当特定資産	1,500,000	400,000	1,100,000	1,500,000
建物設備修繕特定資産	37,550	19,000	18,550	0
会員活動強化特定資産	0	60,000	▲ 60,000	60,000
退職給付引当特定資産	0	3,496	▲ 3,496	0
② 固定資産取得収入	0	480	▲ 480	0
長期前払保険料取崩	0	480	▲ 480	0
投資活動収入計	1,537,550	482,976	1,054,574	1,560,000
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	1,500,000	463,913	1,036,087	1,571,305
建物改築引当特定資産	0	400,000	▲ 400,000	1,510,789
建物設備修繕特定資産	1,500,000	0	1,500,000	0
会員活動強化特定資産	0	60,000	▲ 60,000	60,000
退職給付引当特定資産	0	3,913	▲ 3,913	516
② 基本財産取得支出	30,000	15,200	14,800	4,199
建物	0	0	0	1,864
建物附属設備	30,000	15,200	14,800	2,335
③ 固定資産取得支出	7,550	3,800	3,750	5,174
什器備品	7,550	0	7,550	1,356
一括償却資産	0	0	0	3,303
固定資産廃棄費用	0	3,800	▲ 3,800	515
投資活動支出計	1,537,550	482,913	1,054,637	1,580,678
投資活動収支差額	0	63	▲ 63	▲ 20,678
当期収支差額	18,000	324	17,676	53,935

## 【審議事項】

### 第1号議案

### 平成24年度事業報告並びに決算報告

#### I. 平成24年度事業報告（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

#### 事業概況

平成24年度の本会は、新法人への移行対応をはじめとして、会員の減少の防止、収支の改善、既存事業の見直し等の課題を掲げながら、各事業を展開してまいりました。

平成24年度の各事業の実施状況は後段にて詳述致しますが、以下、平成24年度の重点課題に関し、その概要を説明致します。

(1) 平成24年度の最重点課題であった一般社団法人への移行対応について、評議員会（平成24年3月15日開催）の決定に基づき、行政庁（内閣総理大臣）への移行認可申請を行い、平成25年3月19日付けにて一般社団法人への移行認可を得る事ができました。

この間、一般社団法人移行後に導入される代議員制度への対応として選挙管理委員会（佐々木毅委員長）の管理の下で代議員選挙を実施し、「最初の代議員」となる119名の代議員を選任致しました。新法人への移行登記も完了し、本会は平成25年4月1日付けにて「一般社団法人学士会」となり、新たなスタートを切ることになりました。

(2) 本会にとって喫緊の課題は会員減少への対応です。本年度は「会員減少化の歯止めと新規会員の獲得」を重点課題に掲げ、会員の皆様にもご協力を仰ぎながら取り組んでまいりましたが、残念ながら会員数の減少に歯止めをかけることはできませんでした。会員数の増減内容は16頁の記載のとおりですが、平成24年度末会員数は53,698名で、対前年度2,224名の減少となりました。

本会は新定款において新たに「学生会員制度」を設けました。対象となる若い人たちの意見を取り入れながら本制度を実効あるものにするため全力で取り組んでまいります。会員の皆様も学生会員を含めた新会員のご紹介・入会促進について今後ともご協力頂きますようお願い致します。

(3) 平成24年度の収支状況は後段の決算報告にて詳述致しますが、課題である経常収支の黒字化については、今年度は特定資産の運用利息の増加や経費削減効果等により達成することができました。しかしながら、前述の通り会員減少に依然歯止めはかかっておらず会費収入も減少の一途です。次年度以降も安定的に経常収支の黒字を達成するため、会費収入の減少防止、事業収入の拡大、日常経費の節減等々について、精力的に取り組んでまいります。

(4) 本会は学士会館の運営を(株)学士会館精養軒に委託しておりますが、本年度は会館運営における両者の関係を再整理し、会館サービスの充実や会館運営収支の改善等を目的として現行契約の見直しに取り組んできました。最終結論を得る事はできませんでした。会館を利用した会員サービスのより一層の充実化のためにも両者の連携や協力体制は欠かせないものとなりますので、次年度は早々にも成案を得て、新契約の締結を目指します。

(5) 本年度は、会員ニーズの変化等への対応や事業収支の改善等の視点から、既存の事業を見直すことを課題に掲げ取り組んできました。

本会にとって最も重要な活動の一つである会報発行事業に関し、本年度は『學士會会報』及び『U7』の発行時期の見直しを行い、両誌交互に隔月毎に発行してきた従来の方式を改め、両誌を同時に

発行することで発送コストの削減を図りました。

また、講演会事業に関し、伝統ある午餐会・夕食会の開催（原則、毎月各1回）の他に、新たな試みとして若手会員の交流を目的とした「若手交流会」や「現役世代交流会」を実施しました。当交流会では講演会の後に会員同士の名刺交換や懇談の場を設けるなどして、従来の講演会とは異なる内容とした他、6月開催の交流会には平成23年度卒業学士等の新入会員を招待し、新たな会員層の開拓にも努めました。

関西地区における講演会である「関西茶話会」を本年度は4回開催するとともに、京都大学の附属施設である清風荘の見学会を企画し、好評を得ました。

今後とも、より多くの会員の皆様が参加できる催しを実施できるよう努めてまいります。

以下、各事業別にその概要を報告致します。

## 1. 学 士 会 館

会館の利用実績は次の通りです。

□会 議 室 利 用 回 数	5, 614回 (5, 560回) ※カッコ内は昨年の実績	
□会 議 室 利 用 人 員	160, 040名 (154, 167名)	} ※延べ人数 計 318, 454名 [1日平均887名]
□宿 泊 室 利 用 人 員	6, 346名 (5, 859名)	
□レストラン等利用人員	152, 068名 (143, 431名)	

但し、読書室、七大学連絡事務所、囲碁・将棋・撞球（同好会室）の利用は除く。

## 2. 会 報 （『學士會會報』及び『U7』）

本会会報である『學士會會報』と『U7』を隔月に同時発行致しました。

『學士會會報』は第894号を平成24年5月、第895号を7月、第896号を9月、第897号を11月、第898号を平成25年1月、第899号を3月にそれぞれ発行し、全会員に配布致しました。総頁数は842頁、発行部数は333, 350部に達しました。

また『U7』は第43号を5月、第44号を7月、第45号を9月、第46号を11月、第47号を平成25年1月、第48号を3月にそれぞれ発行し、発行部数は338, 430部となりました。

## 3. 講演会、談話会、その他の集会

### （1）午 餐 会

本年度は次の通り、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、延1, 954名の参加がありました。なお、8月は「第3回サマーコンサート in 学士会館」の開催に伴い休会、また

12月は定例により休会いたしました。

東京スカイツリー®の設計	慶伊道夫氏 (平成24年 4月例会)
中東危機の現状	山内昌之氏 (平成24年 5月例会)
平清盛悪人説の検証	上杉和彦氏 (平成24年 6月例会)
歌の心・絵の心ー芸術に見る日本文化の系譜	
	高階秀爾氏 (平成24年 7月例会)
アサヒビールの経営戦略と道州制	池田弘一氏 (平成24年 9月例会)
人口成熟・日本の活路	藻谷浩介氏 (平成24年10月例会)
米大統領選挙の結果から見る米国政治の現状	久保文明氏 (平成24年11月例会)
日本経済と世界経済の動向	武藤敏郎氏 (平成25年 1月例会)
中国の政治と安全保障	國分良成氏 (平成25年 2月例会)
千駄木の漱石	森まゆみ氏 (平成25年 3月例会)

## (2) 夕食会

本年度は次の通り、午餐会と同様に、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、延785名の参会がありました。なお、6月と9月は「若手交流会」、11月は「現役世代交流会」、1月は「新春講演会」に振り替え、8月は定例により休会といたしました。

インド経済の現状と今後の日印関係	近藤正規氏 (平成24年 4月例会)
想定外を生き抜く力～大津波から生き抜いた釜石市の子どもたち、その防災教育に学ぶ～	
	片田敏孝氏 (平成24年 5月例会)
伝統演劇・狂言の継承と普及	野村万作氏 (平成24年 7月例会)
美しい日本語を未来に引継ぐ	愛甲次郎氏 (平成24年10月例会)
出生コホート研究の意義	山縣然太朗氏 (平成24年12月例会)
これまでの医療・これからの医療	金澤一郎氏 (平成25年 2月例会)
震災とデザイン	隈研吾氏 (平成25年 3月例会)

## (3) 新春講演会

本年度は次の通り、新春講演会を開催し、84名の参会がありました。

IBMの企業戦略とリーダーシップ～地球を、より賢く、よりスマートに～

橋本孝之氏 (平成25年 1月)

## (4) 関西茶話会

本年度は昨年に引き続き、関西地区の会員を対象とした茶話会を開催し、延157名の参会がありました。

第8回 口福を求めて一口を介しての健康生活ー

恵比須繁之氏 (平成24年 4月21日)

第9回 電子時代の漢字研究～しんにょうの点の数

阿辻哲次氏 (平成24年 6月 9日)

第10回 正倉院宝物の世界―第64回正倉院展・今年の見どころ！―

飯田剛彦氏(平成24年10月6日)

第11回 邪馬台国の女王卑弥呼の謎～卑弥呼は男装の麗人だった？～

武田佐知子氏(平成25年2月16日)

## (5) 若手交流会

本年度は昨年に引き続き、平成卒の会員を対象とした若手限定交流会を開催し、延97名の参加がありました。

第4回 東京スカイツリー®のライティングデザイン～LEDが実現する新しい照明設計～

戸恒浩人氏(平成24年6月8日)

第5回 仏教を「やる」ということ

松本紹圭氏(平成24年9月26日)

## (6) 現役世代交流会

本年度は新たに、現役世代会員を対象とした交流会を新規開催し、39名の参加がありました。

学習する組織、学習する社会へ ヒューマンウェア開発の可能性

本間正人氏(平成24年11月2日)

## (7) 見学会

本年度は次の通り、見学会(解説あり)を開催し、延227名の参加がありました。

「国立西洋美術館見学会」

高梨光正氏(平成24年9月6日)

「京都大学清風荘見学会」

今西純一氏(平成24年12月1日)

岡本健氏

## (8) サマーコンサート in 学士会館

平成24年8月22日、第3回サマーコンサートを昼の部、夜の部の二部構成で開催し、265名の参加がありました。

## (9) ウィンターコンサート in 学士会館

平成24年12月23日、第3回ウィンターコンサートを昼の部、夜の部の二部構成で開催し、298名の参加がありました。

## (10) 忘年家族会

平成24年12月22日、学士会館において「キュリー夫人のクリスマスレクチャー」と題して、忘年午餐会・晩餐会を開催しました。332名の参加がありました。

## (11) 新年祝賀会

平成25年1月5日、松尾理事長の挨拶に続いて、石井副理事長の発声にて乾杯が行われ、賀宴、米澤会員による謡曲披露のあと、都山流尺八の魅力と題して、山本真山氏の凜とした尺八演奏で新年を祝いました。

122名の参会がありました。

## 4. 庶務要件

### (1) 会員通常総会

本年度会員通常総会は、平成24年6月28日学士会館において開催し、次の議案を諮りそれぞれ承認可決致しました。

議案(1) 平成23年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の  
注記の承認

議案(2) 一般社団法人移行認可申請について

議案(3) 学士会代議員選挙規則について

議案(4) 定款第12条による任期満了評議員の改選

### 【当 選 評 議 員】

(東 京 大 学)

[法学部関係]

大内恒夫	若月三喜雄	辻亨	井上孝美
三谷太郎	國松孝次		

[医学部関係]

伊藤正男	森岡恭彦		
------	------	--	--

[工学部関係]

岡村總吾	内田祥哉	石井威望	茅陽一
増子昇	山口梅太郎	久保田弘敏	

[文学部関係]

秋山虔	宮島喬		
-----	-----	--	--

[理学部関係]

古在由秀	上田誠也	星元紀	
------	------	-----	--

[農学部関係]

佐々木 惠彦

[経済学部関係]

兵藤 釗	貝塚啓明	根岸 隆	
------	------	------	--

[教育学部関係]

[教養学部関係]

東 洋		小和田 恒	
-----	--	-------	--

(京 都 大 学)

[法学部関係]

中江 要介

吉 兼 三 郎

根 來 泰 周

村 松 岐 夫

[医学部関係]

日野原 重明

[工学部関係]

児 嶋 眞 平

松 本 紘

[理学部関係]

尾 池 和 夫

[経済部関係]

的 場 順 三

西 澤 宏 繁

(東 北 大 学)

[法学部関係]

樋 口 陽 一

[工学部関係]

岡 久 雄

徳 久 芳 郎

大 槻 幹 雄

[文学部関係]

内 藤 幹 治

[理学部関係]

下 鶴 大 輔

[農学部関係]

木 村 修 一

[経済学部関係]

板 垣 保 雄

(九 州 大 学)

[法学部関係]

古 川 貞 二 郎

[医学部関係]

田 中 健 蔵

[工学部関係]

塩 見 弘

増 田 信 行

[理学部関係]

牟 田 泰 三

(北 海 道 大 学)

[法学部関係]

五 十 嵐 紀 男

[工学部関係]

沢 邦 彦

[理学部関係]

大 澤 弘 之

[経済部関係]

松 木 洋 三

(大 阪 大 学)

[法学部関係]

久 貴 忠 彦

[医学部関係]

早 石 修

[工学部関係]

藤村宏幸 宮原秀夫

[理学部関係]

森島洋太郎

[経済学部関係]

土屋直

(名古屋大学)

[法学部関係]

片岡大造

[医学部関係]

加藤延夫

[工学部関係]

森政弘

[理学部関係]

山下廣順

[経済学部関係]

奥村洋彦

## (2) 評議員会

□平成24年6月28日、本年度第一回評議員会を学士会館において開催し、大内評議員会議長のもとで次の議案を審議し、承認可決致しました。

議案 1 任期満了に伴う理事及び監事の改選  
選挙の結果、次の通り選任されました。

[理事] … 15名

松尾浩也	大崎仁	富浦梓
石井紫郎	西澤潤一	久保正彰
五十嵐三津雄	小林俊一	熊谷信昭
篠沢恭助	梶山千里	榊原定征
南原晃	長尾真	金澤一郎

[監事] … 3名

若井恒雄 根本二郎 岡田明重

議案 2 一般社団法人移行時の「最初の代議員」選出のための代議員選挙の実施

議案 3 選挙管理委員会委員及び選挙区委員会委員の推薦

議案 4 選挙区代議員基礎定員数の決定

議案 5 平成23年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の承認

(平成3年3月14日開催の評議員会決議により会員通常総会と同時審議)

□平成25年3月14日、本年度第二回評議員会を学士会館において開催し、大内評議員会議長のもとで次の議案を審議し、承認可決致しました。

議案 1 榊原理事退任に伴う後任理事の選出について

[選出理事] 丹羽宇一郎

議案 2 平成25年度事業計画案及び予算案について

報告(1)「一般社団法人」への移行及び「最初の代議員」選出のための代議員選挙の実施状況

### (3) 理事会及び理事・監事会

本年度において次の通り開催し、諸般の会務について審議決定致しました。

#### □ 4月理事会（平成24年4月26日）

1. 平成23年度決算概要について
  2. 任期満了評議員の改選等について
  3. 一般社団法人移行時の「最初の代議員」選出について
- 報告（1）一般社団法人移行認可申請の実施報告  
（2）新卒業学士等入会状況

#### □ 5月理事・監事会（平成24年5月24日）

1. 平成23年度事業報告並びに決算報告
  2. 平成24年度第1回評議員会及び会員通常総会の議案について
- 報告（1）債券購入について  
（2）一般社団法人移行認可審査状況等

#### □ 6月理事会（平成24年6月28日）

1. 河野俊二監事ご逝去（6月12日）に伴う後任対応について
  2. （本日開催）評議員会・会員通常総会
- （1）出席状況  
（2）次第・進行について  
（3）評議員会第3号議案について

#### □ 6月臨時理事会（平成24年6月28日）

1. （定款第14条に基づく）理事長の互選について
- 理事による互選の結果、次の通り決定しました。  
理事長 松尾浩也

#### □ 7月理事会（平成24年7月12日）

1. 常務理事等の選任について
- 次の通り、副理事長、常務理事を決定しました。

副理事長 石井紫郎  
常務理事 大崎 仁  
常務理事 富浦 梓  
常務理事 南原 晃

2. 「代議員選挙」関連日程（案）について

報告（1）選挙管理委員会委員及び選挙区委員会委員の委嘱  
及び選挙管理委員会の発足状況  
（2）再任評議員の就任承諾状況について  
（3）平成24年度後半の理事会等主要行事日程について  
（4）七大戦開会式（7月7日開催）について

□ 9月理事会（平成24年9月27日）

1. 学士会事務局長の公募について
2. (株)学士会館精養軒との「施設使用契約」の見直しについて
3. 「会員氏名録」の発行時期について
4. 会員増強及び学生会員制度について

報告（1）第1回及び第2回選挙管理委員会報告

並びに第1回（各選挙区）選挙区委員会報告

（2）国債購入（「建物改築引当特定資産」繰入）について

□ 10月理事・監事会（平成24年10月25日）

1. 平成24年度上半期会計報告
2. 新定款附則第4項の確定について

報告（1）年末年始の学士会催しについて

（2）9月理事会報告

（3）平成25年度 行事予定（理事会等日程）

□ 11月理事会（平成24年11月22日）

1. (株)学士会館精養軒との「施設使用契約」の見直しについて
2. 学士会事務局の組織変更について

報告（1）「代議員選挙立候補手続の告示」以降の立候補届出状況等

（2）事務局長公募に対する応募状況等

□ 1月理事会（平成25年1月24日）

1. 平成24年度決算見通しについて
2. 「学生会員制度」について

報告（1）「第3回選挙管理委員会」報告（1月22日開催）

—各選挙区立候補結果及び「代議員選挙実施の告示」等—

（2）事務局長公募の現状報告

□ 2月理事・監事会（平成25年2月28日）

1. 榊原理事の退任申出及び後任理事の選任について
2. (株)学士会館精養軒の平成24年度決算概要について
3. 平成25年度事業計画案及び予算案について

報告（1）事務局長候補者の採用について

（2）新卒業学士他の入会勧誘について

□ 3月理事会（平成25年3月14日）

1. (株)学士会館精養軒の株主総会議案について

報告（1）（本日開催）評議員会について

**（4）監事会**（平成24年5月24日）

平成23年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の検査を行いました。

## (5) 常 務 会

毎月定期的に常務会を開催し、種々の会務を審議決定致しました。

## (6) 諸 委 員 会

### ア. 会報編集委員会

本年度は次の通り開催し、種々検討・協議の上、各号の執筆候補者を決定致しました。

第1回 平成24年 4月26日 会報第896号、会報第897号

第2回 平成24年 7月12日 会報第898号

第3回 平成24年10月25日 会報第899号、会報第900号

第4回 平成25年 1月24日 会報第901号

### イ. 選挙管理委員会

本委員会は新法人移行に伴い、新定款に定められた「最初の代議員」選出のための代議員選挙を管理するため、佐々木毅評議員を委員長として、各選挙区から選出された選挙管理委員により平成24年4月以降4回に亘り開催され、選挙実施に関し必要な事項を協議・決定しました。

代議員選挙は「立候補手続きの告示」（平成25年11月1日）に基づく立候補者が各選挙区の定員数に満たなかったため、代議員選挙規則に基づく特例の立候補手続き及び選挙方法により実施され、平成25年3月25日開催の委員会において「最初の代議員」119名が確定しました。

本委員会の開催日は、次の通りです。

第1回 平成24年 7月13日

第2回 平成24年 9月 5日

第3回 平成25年 1月22日

第4回 平成25年 3月25日

### ウ. 趣味同好会

平成24年12月3日に撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌各会の年間優秀会員にそれぞれ理事長杯を授与し、その後、落語会を含めた委員会を開催、種々懇談を行いました。

## (7) 会 員

本年度における会員の増減及び年度末会員数は次の通りです。

新 会 員	603名
逝 去 会 員	799名
退 会 会 員	1,360名
会費長期未納退会者	668名
差 引 減	2,224名
現 在 会 員 数	53,698名 (内 終身会員3,840名)

(注：「終身会員」の内、戦前に制定された終身会員制度による加入者が1,101名、平成21年度より、新たに制度化された「新終身会員」が2,739名になります。)

## (8) (株)学士会館精養軒の経営

本会が100%の株式を保有しております(株)学士会館精養軒の平成24年度の営業結果は、次の通りです。

□平成24年度(平成24年2月1日～平成25年1月31日)決算

- ・売上高 1,580,592千円(前年度：1,549,257千円)
- ・営業利益 50,495千円(同：86,891千円)
- ・経常利益 61,347千円(同：96,301千円)

□平成25年3月28日開催の株主総会において役員改選が行われ、次の通り新役員を決定しました(代表取締役・役付取締役の選任は、株主総会後の取締役会の決議により決定)。

代表取締役社長 渡邊 幸重(新)

代表取締役専務 岡崎 芳夫(再)

取締役営業部長 中山 幸俊(新)

取締役総料理長 大阪 勝(新)

なお、前代表取締役社長石井啓二氏は特別顧問に就任し、前取締役内藤賦一氏は退任いたしました。

## 5. その他

当会は、(株)学士会館精養軒に学士会館の運營業務を委託しておりますが、平成16年2月以降、当会が同社の株式を100%保有しております。同社の概要は次の通りです。

[株式会社学士会館精養軒の概要](平成25年3月31日現在)

□名称 株式会社学士会館精養軒

□所在 東京都千代田区神田錦町3-28

□代表者 代表取締役社長 渡邊 幸重

□資本金 10,000,000円

□売上高 1,580,592,054円(平成24年度決算)

なお、当会との取引関係については、「平成24年度決算報告」における「財務諸表の注記」をご参照下さい。(25頁)

Ⅱ. 平成24年度決算報告（平成24年4月1日 ～ 平成25年3月31日）

貸 借 対 照 表

（平成25年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資 産 の 部</b>			
<b>1. 流 動 資 産</b>			
現金預金	152,200,117	89,688,490	62,511,627
未収金	37,969,362	34,137,084	3,832,278
前払費用	618,886	430,136	188,750
立替金	4,899,065	5,309,379	△ 410,314
流動資産合計	195,687,430	129,565,089	66,122,341
<b>2. 固 定 資 産</b>			
<b>(1) 基 本 財 産</b>			
土地	432,393,320	432,393,320	0
建物	590,797,098	681,243,870	△ 90,446,772
基本財産合計	1,023,190,418	1,113,637,190	△ 90,446,772
<b>(2) 特 定 資 産</b>			
建物改築引当特定資産	2,955,646,135	2,727,880,500	227,765,635
建物設備修繕特定資産	176,330,700	168,970,500	7,360,200
会員活動強化特定資産	285,308,900	243,499,500	41,809,400
退職給付引当特定資産	70,010,600	67,990,200	2,020,400
特定資産合計	3,487,296,335	3,208,340,700	278,955,635
<b>(3) そ の 他 固 定 資 産</b>			
什器備品	43,033,771	51,729,739	△ 8,695,968
一括償却資産	2,202,135	0	2,202,135
ソフトウェア	24,077,675	35,256,370	△ 11,178,695
子会社株式	16,000	16,000	0
その他固定資産合計	69,329,581	87,002,109	△ 17,672,528
固定資産合計	4,579,816,334	4,408,979,999	170,836,335
資産合計	4,775,503,764	4,538,545,088	236,958,676

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>Ⅱ 負 債 の 部</b>			
<b>1. 流 動 負 債</b>			
未 払 金	27,499,647	17,729,773	9,769,874
前 受 金	2,918,040	1,385,240	1,532,800
預 り 金	1,207,186	1,109,271	97,915
未 払 消 費 税 等	4,260,100	3,455,300	804,800
賞 与 引 当 金	6,667,000	7,766,000	△ 1,099,000
<b>流 動 負 債 合 計</b>	<b>42,551,973</b>	<b>31,445,584</b>	<b>11,106,389</b>
<b>2. 固 定 負 債</b>			
退 職 給 付 引 当 金	69,986,600	69,470,200	516,400
役 員 退 任 慰 勞 引 当 金	3,429,179	3,032,931	396,248
<b>固 定 負 債 合 計</b>	<b>73,415,779</b>	<b>72,503,131</b>	<b>912,648</b>
<b>負 債 合 計</b>	<b>115,967,752</b>	<b>103,948,715</b>	<b>12,019,037</b>
<b>Ⅲ 正 味 財 産 の 部</b>			
1. 指 定 正 味 財 産	0	0	0
2. 一 般 正 味 財 産	4,659,536,012	4,434,596,373	224,939,639
(うち基本財産への充当額)	(1,023,190,418)	(1,113,637,190)	△ 90,446,772
(うち特定資産への充当額)	(3,417,285,735)	(3,140,350,500)	276,935,235
<b>正 味 財 産 合 計</b>	<b>4,659,536,012</b>	<b>4,434,596,373</b>	<b>224,939,639</b>
<b>負 債 及 び 正 味 財 産 合 計</b>	<b>4,775,503,764</b>	<b>4,538,545,088</b>	<b>236,958,676</b>

# 正味財産増減計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	88,256,929	49,673,711	38,583,218
② 受取会費			
普通会費収益	200,918,400	209,124,500	△ 8,206,100
終身会費収益	6,950,000	17,050,000	△ 10,100,000
③ 事業収益			
会館運営収益	209,280,000	209,280,000	0
講演会等収益	21,437,016	17,631,117	3,805,899
会報等広告料収益	20,563,462	17,342,568	3,220,894
氏名録発行収益	80,954	507,630	△ 426,676
④ 雑収益			
受取利息及び配当金	12,025,563	8,040,706	3,984,857
その他収益	1,749,214	1,672,887	76,327
<b>経常収益計</b>	<b>561,261,538</b>	<b>530,323,119</b>	<b>30,938,419</b>
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	2,601,396	2,229,837	371,559
給与手当	93,088,872	100,563,093	△ 7,474,221
賞与引当金繰入額	4,666,900	5,436,200	△ 769,300
役員退任慰労引当金繰入	0	233,949	△ 233,949
退職給付費用	4,348,750	3,981,250	367,500
福利厚生費	15,626,392	15,776,645	△ 150,253
旅費交通費	3,474,205	4,292,902	△ 818,697
電話費	1,117,769	1,170,218	△ 52,449
減価償却費	107,379,340	128,882,739	△ 21,503,399
什器備品費	1,130,992	2,050,220	△ 919,228
文房印刷費	710,086	650,061	60,025
消耗品費	4,621,408	2,211,324	2,410,084
図書費	424,605	426,944	△ 2,339
営繕費	17,145,000	11,720,206	5,424,794
施設保守費	45,420,621	44,782,296	638,325

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
電 灯 電 力 費	9,519,278	9,045,721	473,557
給 水 冷 暖 房 費	4,906,771	4,810,651	96,120
保 險 料	574,545	491,694	82,851
租 税 公 課	56,897,300	59,079,800	△ 2,182,500
会 報 費	84,654,944	98,714,570	△ 14,059,626
氏 名 録 費	123,340	351,472	△ 228,132
講 演 会 等 経 費	18,525,901	14,875,915	3,649,986
会 員 活 動 強 化 費	403,542	500,647	△ 97,105
七 大 戦 支 援 費	7,000,000	7,000,000	0
シ ス テ ム 管 理 費	4,395,965	4,472,729	△ 76,764
会 場 施 設 使 用 料	7,745,815	8,840,192	△ 1,094,377
事 業 費 計	496,503,737	532,591,275	△ 36,087,538
② 管 理 費			
役 員 報 酬	7,426,670	6,951,449	475,221
給 与 手 当	39,895,236	43,098,385	△ 3,203,149
賞 与 引 当 金 繰 入	2,000,100	2,329,800	△ 329,700
役 員 退 任 慰 勞 引 当 金 繰 入	826,248	597,202	229,046
退 職 給 付 費 用	1,863,750	1,706,250	157,500
福 利 厚 生 費	8,464,579	8,347,964	116,615
旅 費 交 通 費	3,304,276	3,098,092	206,184
会 議 費	3,910,183	2,611,229	1,298,954
賃 借 料	115,628	454,072	△ 338,444
電 話 費	479,038	488,496	△ 9,458
減 価 償 却 費	8,737,492	9,426,561	△ 689,069
文 房 印 刷 費	304,308	278,625	25,683
給 水 冷 暖 房 費	151,766	148,788	2,978
電 灯 電 力 費	294,417	279,769	14,648
租 税 公 課	6,990,030	6,250,622	739,408
会 員 活 動 強 化 費	3,968,933	4,996,289	△ 1,027,356
集 金 費	6,238,703	6,774,035	△ 535,332
業 務 報 酬 料	6,590,000	8,190,000	△ 1,600,000
シ ス テ ム 管 理 費	3,130,797	3,098,315	32,482
雑 費	1,258,740	2,471,629	△ 1,212,889
管 理 費 計	105,950,894	111,597,572	△ 5,646,678

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
経 常 費 用 計	602,454,631	644,188,847	△ 41,734,216
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 41,193,093	△ 113,865,728	72,672,635
特定資産評価損益等	181,385,900	△ 18,518,900	199,904,800
当 期 経 常 増 減 額	140,192,807	△ 132,384,628	272,577,435
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 特定資産償還益	88,250,000	0	88,250,000
経常外収益計	88,250,000	0	88,250,000
(2) 経常外費用			
① 基本財産除却損	1,252,253	12,543,927	△ 11,291,674
② 特定資産償還損	1,986,500	627,800	1,358,700
③ 固定資産除却損	124,415	968,820	△ 844,405
経常外費用計	3,363,168	14,140,547	△ 10,777,379
当 期 経 常 外 増 減 額	84,886,832	△ 14,140,547	99,027,379
税引前当期一般正味財産増減額	225,079,639	△ 146,525,175	371,604,814
法人税・住民税及び事業税	140,000	140,000	0
当期一般正味財産増減額	224,939,639	△ 146,665,175	371,604,814
一般正味財産期首残高	4,434,596,373	4,581,261,548	△ 146,665,175
一般正味財産期末残高	4,659,536,012	4,434,596,373	224,939,639
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	4,659,536,012	4,434,596,373	224,939,639

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法（定額法）によっている。

子会社株式 …原価法によっている。

満期保有目的の債券並びに子会社株式以外の有価証券…期末の市場価格等に基づく時価法によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### 有形固定資産

建物及び什器備品 …定率法。（但し、平成10年4月1日以降取得した建物（附属設備は除く）は定額法、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく方法によっている。また税法上の一括償却資産に該当するものは、3年間の均等償却によっている。）

##### 無形固定資産

ソフトウェア …法人内における利用可能期間（5年）に基づき定額法によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

貸倒引当金 …債権の貸倒による損失に備えるため、回収不能見込額を計上している。

賞与引当金 …職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金 …職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上している。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

役員退任慰労引当金…役員退任慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

#### (4) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土 地	432,393,320	—	—	432,393,320
建 物	681,243,870	4,199,996	94,646,768	590,797,098
小 計	1,113,637,190	4,199,996	94,646,768	1,023,190,418
特定資産				
建物改築引当特定資産	2,727,880,500	1,641,286,135	1,413,520,500	2,955,646,135
建物設備修繕特定資産	168,970,500	7,360,200	—	176,330,700
会員活動強化特定資産	243,499,500	102,025,400	60,216,000	285,308,900
退職給付引当特定資産	67,990,200	2,020,400	—	70,010,600
小 計	3,208,340,700	1,752,692,135	1,473,736,500	3,487,296,335
合 計	4,321,977,890	1,756,892,131	1,568,383,268	4,510,486,753

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
土 地	432,393,320	—	(432,393,320)	—
建 物	590,797,098	—	(590,797,098)	—
小 計	1,023,190,418	—	(1,023,190,418)	—
特定資産				
建物改築引当特定資産	2,955,646,135	—	(2,955,646,135)	—
建物設備修繕特定資産	176,330,700	—	(176,330,700)	—
会員活動強化特定資産	285,308,900	—	(285,308,900)	—
退職給付引当特定資産	70,010,600	—	—	(70,010,600)
小 計	3,487,296,335	—	(3,417,285,735)	(70,010,600)
合 計	4,510,486,753	—	(4,440,476,153)	(70,010,600)

#### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	2,108,256,791	1,517,459,693	590,797,098
什 器 備 品	269,484,625	226,450,854	43,033,771
一括償却資産	3,303,200	1,101,065	2,202,135
ソフトウェア	58,006,566	33,928,891	24,077,675
合 計	2,439,051,182	1,778,940,503	660,110,679

#### 5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	銘 柄 名	帳簿価額	時 価	評価損益
債券	ムラヨーロッパファイナンスエヌブイ NO. 5879	300,000,000	255,330,000	△ 44,670,000
	ムラヨーロッパファイナンスエヌブイ NO. 23166	200,000,000	186,900,000	△ 13,100,000
	ムラヨーロッパファイナンスエヌブイ NO. 6368	200,000,000	165,480,000	△ 34,520,000
	ノルウエー輸出金融公社	200,000,000	141,460,000	△ 58,540,000
	オランダ治水局銀行	200,000,000	166,920,000	△ 33,080,000
	合 計	1,100,000,000	916,090,000	△183,910,000

#### 6. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業内容	議決権所有割合
子会社	株式会社 学士会館精養軒	東京都千代田区神田錦町 3-28-1	503,612,140	飲食業・ 旅館他	100%

(単位：円)

関係内容		取引の内容	取引金額	科 目	期末残高
役員の兼務等	事業上の関係				
—	会館運営の委託	会館運営に伴う 施設貸与	207,600,000	未収金	18,520,000

## 7. 退職給付関係

### (1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

### (2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

①退職給付債務	△69,986,600
②会計基準変更時差異の未処理額	0
③退職給付引当金 (①+②)	△69,986,600

### (3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

①勤務費用	6,212,500
②会計基準変更差異の費用処理額	0
③退職給付費用 (①+②)	6,212,500

### (4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

## 8. その他

本会は、平成25年4月1日に一般社団法人に移行し、一般社団法人学士会に名称を変更している。

# 財 産 目 録

(平成25年3月31日現在)

(単位：円)

科目		金額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	(手許有高)	42,440	
振替預金	(ゆうちょ銀行)	16,050,234	
普通預金	(三菱東京UFJ銀行他)	136,107,443	
未収金	(会館運営収入未収分他)	37,969,362	
前払費用	(損害保険他)	618,886	
立替金	(㈱学士会館精養軒への立替他)	4,899,065	
流動資産合計			195,687,430
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	(千代田区神田錦町三丁目28番1、28番2、28番3、28番4、敷地3,399.97㎡)	432,393,320	
建物	(千代田区神田錦町三丁目28番地1学士会館建物地下1階付5階建延9,337.47㎡)	590,797,098	
基本財産合計			1,023,190,418
(2) 特定資産			
建物改築引当特定資産	(三菱東京UFJ銀行債他)	2,955,646,135	
建物設備修繕特定資産	(三井住友銀行債他)	176,330,700	
会員活動強化特定資産	(三井住友銀行債他)	285,308,900	
退職給付引当特定資産	(RBS円建社債他)	70,010,600	
特定資産合計			3,487,296,335
(3) その他固定資産			
什器備品	(家具製品、繊維製品他)	43,033,771	
一括償却資産	(職員用PC、サーバー他)	2,202,135	
ソフトウェア	(会計ソフト他)	24,077,675	
子会社株式	(㈱学士会館精養軒)	16,000	
その他固定資産合計			69,329,581
固定資産合計			4,579,816,334
資産合計			4,775,503,764

科目		金額		
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	(各業者に対する未払額)	27,499,647		
前受金	(学士会会報広告料前受金他)	2,918,040		
預り金	(職員他源泉所得税預り分)	1,207,186		
未払消費税等	(平成24年度分消費税)	4,260,100		
賞与引当金	(職員賞与に対する引当金)	6,667,000		
流動負債合計			42,551,973	
2. 固定負債				
退職給付引当金	(職員20名分)	69,986,600		
役員退任慰労引当金	(役員18名分)	3,429,179		
固定負債合計			73,415,779	
負債合計				115,967,752
正味財産				4,659,536,012

以上、検査いたしましたところ相違ありません。

平成25年5月23日

監 事 若 井 恒 雄

同 根 本 二 郎

同 岡 田 明 重

## 第2号議案

## 理事の補充選任について

平成24年6月28日に選任されました理事15名の内、平成25年4月2日付にて石井紫郎理事が退任いたしました。定款第27条第1項の定めに基づき、後任理事の選任を行います。後任理事候補者は次のとおりです。

□<sup>きき</sup>佐々木 <sup>たけし</sup>毅 会員 東京大学法学部 昭和40年卒業  
本会選挙管理委員会 委員長  
東京大学名誉教授 日本学士院会員  
元東京大学総長

なお、選任された後任理事の任期は、定款第30条第3項の定めにより前任者の任期である平成26年度通常代議員総会の終結の時までとなります。

### (参考)

#### □定款第27条第1項

理事及び監事は、正会員の中から代議員総会の決議により選任する。

#### □定款第30条第3項

補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の終了する時までとする。

### 第3号議案

### 監事の選任について

本会の監事の定数は、定款第26条により「3名以上5名以内」と定められています。

現状3名の監事が選任されておりますが、一般社団法人移行後の会務運営をより円滑に推進していくために、定款第27条第1項の定めに基づき、新たに2名の監事選任を行うものです。監事候補者は次のとおりです。

(1) 橋本 徹 会員 東京大学法学部 昭和32年卒業  
(株)日本政策投資銀行 代表取締役社長  
元(株)富士銀行頭取

(2) 福井 俊彦 会員 東京大学法学部 昭和33年卒業  
(一財) キヤノングローバル戦略研究所理事長  
元日本銀行総裁

#### (参考)

#### 定款第27条第1項

理事及び監事は、正会員の中から代議員総会の決議により選任する。